

## 老人の妄想

大津 隆文

人生の残り時間が少なくなってきた昨今、幕引きについても時々考える。「ピンピンコロリ」が理想とは思うが、医者の話では実際にそうなる確率は十人に一人位らしい。健康寿命と平均寿命の差は大きく、現実は厳しそうだ。

ピンピンで過ごす方法については色々な助言があるが、コロリについては耳にしたことがない。コロリとの逝き方を教えてくれる人はいないのか。

まず日頃通っている気功教室の、ガンも治すという先生に、コロリと逝く方法を聞いてみた。しかし気功の生命回復力、蘇生力の話ばかりで、コロリの教えはなかった。次に最近話題のチャットGPTに尋ねてみた。こちらもピンピンの方法については縷々教えてくれたが、コロリについては「医学的に証明された方法はありません」と素っ気なかった。

病気の末期症状で耐えがたい苦痛に苛まされたり、身動きも出来ず好転も望めない植物状態で、コロリを切望する状況に陥るリスクは誰にもある。万一の極限事態の救済策としてコロリと逝く方法があったら、皆の心はどんなに安まるだろうか。

- ① 私は修行を積んで是非その方法を編み出したい。それは、玄妙な呪文を唱え深呼吸を三回する、という簡単なものだ。
- ② 世のため人のためこの呪文(お札)を十万円でお頒けする(自殺幫助罪に問われないよう宣伝には要工夫)。お札の開封前はもちろん、開封後も効力がなかった場合には全額返金を確約する。
- ③ 仮にすべて解約に応ずるとしても時間的ズレがあるし、実際にコロリと逝く人や忘れてしまう人も出てくる。私の手許にはかなりの現金が貯まる。これをどうするか？
- ④ この際若い頃お金がなくて出来なかった「酒と薔薇の日々」を過ごしてみたい。そうすれば自分は呪文に頼らずコロリと逝けそうだ！
- ⑤ 待てよ、今の自分に酒と薔薇の日々を楽しむ気力、体力はあるのか？あゝ時遅し！

ぼっくり寺として有名な奈良の吉田寺の外、ぼっくり観音、ぴんころ地蔵は全国各地に。まずはそこにお参りしてみるか。